

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-01-06
事務事業名	地域組織活動育成事業		
事業開始年度	S63 ~		
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	関係先	岡山県市町村児童環境づくり基盤整備事業費補助金交付要綱
中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	こども課
小項目 施策	子育て支援	職・氏名	こども福祉係長 藤田 政宣
		電話	0869-64-1825

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	母親の連帯組織(母親クラブ)など児童健全育成に寄与する自主的な団体(保護者がおおむね30人以上)
目 的 (何のために)	家庭児童の健全な育成を図るため、母親など地域住民の積極的参加による地域組織活動を促進する。
行政活動 (どのような方法で)	組織に対し、その活動費の助成を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	積極的な参加を促し活動が活発化することで、事業目的により一層の効果を上げる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	交付団体数	団体	9	11	11
	会員数	人	414	514	456
	活動回数	回		364	379
	事業費	千円	1,701	2,079	1,663
	人件費	千円	415	380	224
	事業費計		2,116	2,459	1,887
	財源	千円	1,134	1,386	1,108
	一般財源		982	1,073	779
	必要人員	人	0.05	0.05	0.03
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	交付団体数	説明	交付対象となる活動を行った団体数		
	結果指標量	団体	9	11	11
	対前年比	%	-	122.2%	100.0%
	活動コスト	円	2,116,000	2,459,000	1,663,200
結果指標	説明	単位当たりコスト			
対前年比	%	-	-	-	
活動コスト	円	235,111	223,545	151,200	

事業の成果			
成果指標名	平均活動回数	式又は説明	活動回数/交付団体数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	14.11回	33.09回	34.45回
対前年比		234.51%	104.11%
到達目標値	活動回数の維持と内容の充実を図る	到達目標年度	毎年

(平成19年度事業)

事務事業の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価 <A~E>	C
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
妥当性の評価	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	地域組織の活動に対する補助事業でその活動を育成助長するための必要な事業である。	
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
効率性の評価	市の関与	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率的性評価 <A~E>	C
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		課題認識
有効性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	支給金額は各団体に一律151,200円を支給している。事業内容については、実績報告で確認している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
有効性の評価	職 場	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	有効性評価 <A~E>	C
		<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		課題認識
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	有効性評価 <A~E>	C
		<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		課題認識
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	児童の健全な育成を促進するため、母親クラブなどの自主的な団体の活動を今後も支援していく必要がある。	
		<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
		<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
		<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
		<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A~E>	C
		<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		課題認識
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	児童の健全な育成を促進するため、母親クラブなどの自主的な団体の活動を今後も支援していく必要がある。	
		<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
		<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
		<input type="checkbox"/> 事業の縮小している		

平成20年度の状況		説明	木生保育園が休園となり、活動母体の母親クラブが消滅し1団体減少した。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	10団体	結果指標量
	成果指標量	活動回数の維持と内容の充実を図る	

総合評価		評価区分 <A~E>	C	
活動費助成を行うことで園児、家庭児童の保護者の活発な活動ができ、園児、家庭児童の健全な育成に寄与できている。				

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する		<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果